

君津広域水道用水供給事業の業務状況

(平成22年度下期)

君津広域水道企業団

第1 事業の概況

君津広域水道企業団水道用水供給事業は、昭和49年度に事業着手して以来37年目を迎え、構成団体である千葉県並びに木更津市、君津市、富津市及び袖ヶ浦市の各水道事業者に対し、昭和55年度の供給開始から安定した給水を続けております。

この間、昭和59年度に創設事業の施設建設を完了して1日最大給水量135,000m³の供給体制を確立し、その後、更なる水需要に対応するため昭和58年度から第1次拡張事業を実施しており、現在、創設事業系の大寺浄水場施設135,000m³と拡張事業系の十日市場浄水場施設60,000m³を併せた1日最大給水量195,000m³の施設能力により水道用水の供給を行っています。

また、第1次拡張事業は、近年の社会経済情勢の変化等を反映し、各市とも水需要の大幅な増量が見込まれず、数次にわたる需給計画の見直しにより、計画目標年度を平成37年度、1日最大給水量を205,000m³としております。

近年の財政状況としましては、平成19年度から平成20年度にかけて国の公債費負担対策による企業債の補償金免除繰上償還制度を活用したことにより、将来における利払費の軽減が図られました。しかし、今後の事業運営を展望すると施設の老朽化に伴う大規模修繕等の維持管理経費や施設の更新・改良・耐震化等の投資的経費の増大による事業資金の確保が重要な課題となることが推測されるところです。

このような状況を踏まえ、新たに作成した第9次長期水需給計画を基本とした今後5カ年(平成23年度から27年度)に関する事業運営方針として「第2次施設整備計画」及び「第4次財政収支計画」を策定しました。又、これを総合的に一体化した新たな「君津広域水道地域水道ビジョン2011」を作成し公表したところです。しかも、第4次財政収支計画においては利払費の軽減効果を考慮して平成23年度から供給料金(基本料金)を引き下げることにいたしました。

今後とも経営の根幹をなすこれらの基本計画を礎に、適時適切な施設整備を図るとともに、引き続き経営改善に積極的に取り組み、各構成団体に安全で安心かつ廉価な生活用水を安定供給するため、効率的な事業運営に努めてまいります。

(平成22年度の事業概要)

1 用水供給事業

本年度の年間総給水量は45,297,864m³(対前年度比0.37%増)となり、当初予定量45,747,994m³に対し99.02%の供給実績となりました。

また、1日平均給水量は124,104m³、1日最大給水量は7月22日に143,851m³を記録し、負荷率は86.27%となりました。

なお、送水量に対する有収率は、99.52%となりました。

業 務 量

区 分	上 期		下 期		計		前 年 度		比 較		
									増 減	対前年度比	
取 水 量	24,422,278 m ³		21,327,606 m ³		45,749,884 m ³		45,501,087 m ³		248,797 m ³	100.55 %	
送 水 量 (A)	24,286,745		21,231,470		45,518,215		45,368,286		149,929	100.33	
有 収 水 量 (B)	24,166,753		21,131,111		45,297,864		45,130,192		167,672	100.37	
構成団体別内訳	千 葉 県	10,227,684	42.32 %	8,524,424	40.34 %	18,752,108	41.40 %	18,614,980	41.25 %	137,128	100.74
	木 更 津 市	5,876,740	24.32	5,421,746	25.66	11,298,486	24.94	10,863,910	24.07	434,576	104.00
	君 津 市	3,295,634	13.64	3,086,547	14.61	6,382,181	14.09	6,775,858	15.02	△ 393,677	94.19
	富 津 市	2,224,436	9.20	1,644,223	7.78	3,868,659	8.54	3,873,669	8.58	△ 5,010	99.87
	袖 ヶ 浦 市	2,542,259	10.52	2,454,171	11.61	4,996,430	11.03	5,001,775	11.08	△ 5,345	99.89
1日平均給水量 (C)	132,059		116,105		124,104		123,644		460	100.37	
1日最大給水量 (D)	(7月22日) 143,851		(2月25日) 134,110		(7月22日) 143,851		(7月16日) 141,213		2,638	101.87	
有 収 率 (B/A)	99.51 %		99.53 %		99.52 %		99.48 %		0.04 ポイント	—	
負 荷 率 (C/D)	91.80 %		86.57 %		86.27 %		87.56 %		△ 1.29 ポイント	—	

(注) 構成団体別内訳欄の比率は供給実績による供給割合を示す。

2 拡張事業

本年度の執行事業費は 202,804,940円で、水処理改善事業としてトリハロメタンや薬品注入量等の低減化を図るため、前年度に引き続き十日市場浄水場の中間塩素付帯設備工事として薬品沈澱池覆蓋設置工事等を施行しました。

3 建設改良事業

本年度の執行事業費は 1,147,329,655円で、施設の延命や耐震化を図るため、大寺浄水場脱水機更新工事及び第1中継ポンプ場耐震補強工事等を施行しました。

第2 経理の状況

1 平成22年度予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

収 入

(単位：円)

区 分	予 算 額	執 行 額			執行率 (%)
		上 期	下 期	計	
用水供給事業収益	6,679,347,000	3,380,585,336	3,316,065,748	6,696,651,084	100.26
営業収益	6,647,653,000	3,373,203,770	3,271,523,738	6,644,727,508	99.96
営業外収益	31,694,000	7,381,566	44,542,010	51,923,576	163.83

支 出

(単位：円)

区 分	予 算 額			執 行 額			執行率 (%)
	現年度分	繰越分	計	上 期	下 期	計	
用水供給事業費用	5,351,499,000	0	5,351,499,000	2,999,620,736	2,308,547,606	5,308,168,342	99.19
営業費用	4,692,319,000	0	4,692,319,000	2,708,056,803	1,949,932,444	4,657,989,247	99.27
営業外費用	649,751,000	0	649,751,000	291,563,933	358,186,392	649,750,325	100.00
特別損失	429,000	0	429,000	0	428,770	428,770	99.95
予備費	9,000,000	0	9,000,000	0	0	0	0.00

(2) 資本的收入及び支出

収 入

(単位：円)

区 分	予 算 額			執 行 額			執行率 (%)
	現年度分	繰越分	計	上 期	下 期	計	
資本的收入	225,890,000	0	225,890,000	0	225,890,000	225,890,000	100.00
企業債	50,000,000	0	50,000,000	0	50,000,000	50,000,000	100.00
出資金	175,890,000	0	175,890,000	0	175,890,000	175,890,000	100.00

支 出

(単位：円)

区 分	予 算 額			執 行 額			執行率 (%)
	現年度分	繰越分	計	上 期	下 期	計	
資本の支出	3,844,719,000	0	3,844,719,000	2,260,400,939	1,494,928,568	3,755,329,507	97.68
建設改良費	1,232,280,000	0	1,232,280,000	869,045,228	278,284,427	1,147,329,655	93.11
拡張工事費	207,244,000	0	207,244,000	193,345,852	9,459,088	202,804,940	97.86
企業債償還金	2,405,195,000	0	2,405,195,000	1,198,009,859	1,207,185,053	2,405,194,912	100.00

2 平成22年度君津広域水道企業団水道用水供給事業損益計算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(注) 各項目の上段()内は、平成22年度下期の数値を示す。

(単位：円)

1 営業収益			
	(3,103,544,104)		
(1) 給水収益	6,294,209,536		
	(12,192,800)	(3,115,736,904)	
(2) その他の営業収益	34,102,400	6,328,311,936	
2 営業費用			
	(1,255,556,186)		
(1) 原水及び浄水費	1,929,137,424		
	(261,072,084)		
(2) 送水費	362,276,616		
	(193,260,177)		
(3) 総係費	340,330,807		
	(948,642,019)		
(4) 減価償却費	1,897,026,019		
	(29,747,130)	(2,688,277,596)	
(5) 資産減耗費	29,974,532	4,558,745,398	
営業利益			(427,459,308)
			1,769,566,538
3 営業外収益			
	(6,066,147)		
(1) 受取利息及び配当金	12,729,444		
	(18,218,000)		
(2) 他会計補助金	18,218,000		
	(992,855)	(25,277,002)	
(3) 雑収益	1,705,249	32,652,693	
4 営業外費用			
	(227,720,892)		
(1) 支払利息	468,004,325		
	(3,769,500)	(231,490,392)	(△ 206,213,390)
(2) 繰延勘定償却	7,539,000	475,543,325	△ 442,890,632
			(221,245,918)
経常利益			1,326,675,906
5 特別損失			
	(428,770)	(428,770)	(△ 428,770)
(1) その他特別損失	428,770	428,770	△ 428,770
当年度純利益			(220,817,148)
			1,326,247,136
前年度繰越利益剰余金			(△ 1,298,275,455)
			0
当年度未処分利益剰余金			(△ 1,077,458,307)
			1,326,247,136

3 平成22年度君津広域水道企業団水道用水供給事業貸借対照表

(平成23年3月31日)

(単位:円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有形固定資産

イ 土 地		4,845,286,989	
ロ 建 物	9,576,524,869		
減価償却累計額	<u>3,548,789,768</u>	6,027,735,101	
ハ 構 築 物	63,372,949,235		
減価償却累計額	<u>20,541,735,143</u>	42,831,214,092	
ニ 機 械 及 び 装 置	28,426,390,038		
減価償却累計額	<u>17,281,846,451</u>	11,144,543,587	
ホ 車 両 運 搬 具	16,114,215		
減価償却累計額	<u>10,534,197</u>	5,580,018	
ヘ 船 舶	4,955,560		
減価償却累計額	<u>2,715,548</u>	2,240,012	
ト 工 具 器 具 及 び 備 品	298,942,680		
減価償却累計額	<u>199,488,685</u>	99,453,995	
チ 建 設 仮 勘 定		<u>716,778,312</u>	
有形固定資産合計			65,672,832,106

(2) 無形固定資産

イ 施 設 利 用 権		123,046,548	
ロ その他無形固定資産		<u>1,431,412</u>	
無形固定資産合計			<u>124,477,960</u>

固定資産合計 65,797,310,066

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金		4,222,728,938	
(2) 未 収 金		575,560,913	
(3) 貯 蔵 品		26,000,000	
(4) その他流動資産		<u>142,253,955</u>	
流動資産合計			4,966,543,806

3 繰 延 勘 定

(1) 試 験 研 究 費		<u>67,756,000</u>	
繰延勘定合計			<u>67,756,000</u>
資 産 合 計			<u><u>70,831,609,872</u></u>

負債の部

4 固定負債

(1) 引当金

イ 退職給与引当金 773,114,000

ロ 修繕引当金 325,737,000

引当金合計 1,098,851,000

固定負債合計 1,098,851,000

5 流動負債

(1) 未払金

697,804,477

(2) その他流動負債

144,979,745

流動負債合計 842,784,222

負債合計 1,941,635,222

資本の部

6 資本金

(1) 自己資本金

イ 他会計出資金 17,974,614,000

ロ 組入資本金 11,291,029,774

自己資本金合計 29,265,643,774

(2) 借入資本金

イ 企業債 17,116,369,689

借入資本金合計 17,116,369,689

資本金合計 46,382,013,463

7 剰余金

(1) 資本剰余金

イ 国庫(県)補助金 19,888,113,191

ロ 工事負担金 800,157,930

ハ 受贈財産評価額 233,191

ニ その他資本剰余金 493,209,739

資本剰余金合計 21,181,714,051

(2) 利益剰余金

イ 当年度未処分利益剰余金 1,326,247,136

利益剰余金合計 1,326,247,136

剰余金合計 22,507,961,187

資本合計 68,889,974,650

負債資本合計 70,831,609,872

第3 平成23年度予算の概要

平成23年度予算は、年間総給水量45,778,390^m（対前年度比0.07%増）の給水と将来にわたる安定供給を確保するための予算として次のとおり計上しました。

また、拡張事業は、平成22年度に策定した第2次施設整備計画に基づき、平成27年度に予定されている北部袖ヶ浦～金田配水場線の供用開始に合わせ、送水施設を新設する工事及び大寺浄水場の施設能力低下への対応等のために十日市場浄水場施設を日量2万^m増量する工事等を施行する予定です。

なお、建設改良事業は、平成22年度に策定した第2次施設整備計画に基づき、老朽化した既存施設の設備の更新工事及び機能回復・強化を図るための改良工事等を施行する予定です。

1 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	平成23年度予算額	平成22年度当初予算額	比較増減
用水供給事業収益	6,245,419	6,683,682	△438,263
営業収益	6,224,059	6,656,189	△432,130
営業外収益	21,360	27,493	△6,133

支 出

(単位：千円)

区 分	平成23年度予算額	平成22年度当初予算額	比較増減
用水供給事業費用	5,396,684	5,567,783	△171,099
営業費用	4,794,418	4,968,782	△174,364
営業外費用	581,965	590,001	△8,036
特別損失	11,301	—	皆増
予備費	9,000	9,000	0

2 資本的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

区 分	平成23年度予算額	平成22年度当初予算額	比較増減
資本的収入	578,399	225,240	353,159
企業債	410,000	50,000	360,000
出資金	167,840	175,240	△7,400
固定資産売却代金	559	—	皆増

支 出

(単位：千円)

区 分	平成23年度予算額	平成22年度当初予算額	比 較 増 減
資 本 的 支 出	3,327,682	4,311,658	△ 983,976
建設改良費	413,472	1,694,925	△ 1,281,453
拡張工事費	591,099	211,893	379,206
企業債償還金	2,323,111	2,404,840	△ 81,729

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 2,749,283千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 38,893千円、過年度分損益勘定留保資金2,710,390千円で補てんする予定です。

第4 事業の経営方針

当企業団を取り巻く現状は、国が実施した公的資金補償金免除繰上償還制度を平成19年度及び平成20年度に活用したことによる支払利息の軽減などにより、平成22年度決算においては約13億円の純利益を見込んでおりますが、平成23年度からは、第4次財政収支計画の策定結果に基づき給水料金の値下げを実施しており、水需要の増加も期待できない中で、平成22年度末時点の企業債残高見込は約171億円と依然と多額であり、平成23年度以降は数年間にわたり、10億円から20億円を超える企業債償還が継続するため、純利益に対応する留保資金の増加は望めない状況です。

また、第2次施設整備計画では、平成23年度から北部袖ヶ浦～金田配水場線の拡張事業が予定されており、今後は施設の大規模更新事業及び耐震化事業も見込まれるため、その財源確保に留意し、財務規律を堅持するとともに、事業経営の健全化に向けた取り組みを実施し、将来の財政負担の軽減と資金の確保を図りながら事業の安定経営に努めることとしております。